

今週の News

1. JSURP 公式 Instagram を始めました
2. 第 3 回これからのまちづくり公開研究会のお知らせ
3. 第6回女性とまちづくり研究会 開催案内
4. 広島県呉市でのまち歩きイベントの案内
5. 全まち 2022 in 東京・すみだ 開催速報

■JSURP 公式 Instagram を始めました(文責木村理事)
JSURP では全国でまちづくりに関わるプランナーの視点で撮った写真を紹介する Instagram を始めました。各地のまちのさまざまな表情や景観、資源やプロジェクトなどなどを一言コメントとともにお伝えしていきます。
下記 URL よりアクセスし、是非フォローをしてください。
そして「いいね！」をお願いいたします。

JSURP 公式 Instagram @np_jsurrp
https://www.instagram.com/np_jsurrp/

また、JSURP ではツイッター、フェイスブックでも情報発信をしています。下記 URL よりアクセスし、是非フォローをしてください。そしていいね！をお願いいたします

Twitter https://twitter.com/np_jsurrp
Facebook <https://www.facebook.com/jsurrp>

■第 3 回これからのまちづくり公開研究会のお知らせ

JSURP これからのまちづくり研究会では、第 3 回の公開研究会を下記のとおり開催します。

- 1.日時:10月26日(水) 18時30分~20時30分
- 2.場所:東京大学14号館2階144号教室
- 3.テーマ:村づくり方針と戦略的プロジェクトの関係
- 4.当日の進行:

- 話題提供:金丸宜弘(環境設計研究所)
- ディスカッション:大須賀芳雄(奈良県)、乾耕輔(元十津川村)、金丸宜弘(環境設計研究所)、蓑原敬(都市プランナー)、丸山宏司(国土交通省)
- ※コーディネーター:真鍋陸太郎(東京大学)

5. 主催、問合せ・申し込み先

- ①主催:認定NPO 日本都市計画家協会
- ②申込方法:以下のメールアドレスへ、【JSURP これからのまちづくり公開研究会への参加希望】というタイトルで、【①所属、②お名前、③会員の有無、④参加方法(会場参加かオンライン参加か)、⑤連絡先のメールアドレス】をご連絡ください。

申込先メールアドレス:nakagawa@artep.co.jp (JSURP 常務理事中川智之)

6. 受付締切日:2022年10月25日(火)12:00迄

■第6回女性とまちづくり研究会 開催案内

第6回の女性とまちづくり研究会は、前回に引き続き「女性の視点からのまちづくり」と緩い枠組み設定で、それぞれが今、向き合うまちづくりの課題、気になること、担い手についてなどを話し合いたいと思います。相互に話題提供して議論を深め合えるといいですね!

多くの方の参加をお待ちしています。

【第6回女性とまちづくり研究会 開催概要】

日時:11月12日(土)10時~12時

テーマ:女性の視点からのまちづくり

開催方法:オンライン

申込み:<https://forms.gle/3UyjdGqYUHp9Rn7A>

参加費:無料

■広島県呉市でのまち歩きイベントの案内

広島支部長の JSURP 木村理事と NPO 法人ひろしまジン大学、NPO 法人呉サポートセンターくれシェンド及び呉市天応でまちづくり活動をする団体が協働して、広島県呉市天応地区でまち歩きイベントを開催します。

広島県呉市の天応(てんのう)地区は、呉市の西の端にあり人口は3,700人ほどです。この地区は、西日本豪雨で大規模な土石流で大きな被害を受け、鉄道と道路が寸断され孤立した場所です。広範囲にわたる大規模な被害を受けたものの、自宅が被害を受けなかった住民などが自主的に支援活動を始め、被災者支援が行われました。この支援活動をきっかけに、地域のコミュニティが生まれました。



【開催概要】

イベント名:ひろしまジンとりっぷ〜呉・天応地区編〜

—豪雨災害から4年半、地域に息づくコミュニティ

日時:2022年11月3日(木・祝)10:00~12:45

集合場所:呉ポートピアパーク内 NPO 法人呉サポートセンターくれシェンド(現地集合・現地解散)

参加費:大人2,000円 学生1,000円 高校生以下無料

定員:10名

申込方法:下記WEBサイトからお申し込みください

<https://www.jindai.hiroshima.jp/class/e993b262-4c56-46d1-aada-5d47361e0def>

主催:NPO 法人ひろしまジン大学

協力:NPO 法人 呉サポートセンター くれシェンド

がんばろう天応、つなごう@天応

後援:認定NPO 日本都市計画家協会

■全まち 2022 in 東京・すみだ 開催速報(文責:渡会)

第17回となる「全国まちづくり会議 2022 in 東京・すみだ」は二日間の全日程を大盛況のうちにとどこおりなく完了しました。関係者の方々のご尽力に心より感謝申し上げます。今年の全まちでは、オープニングセッションを含めて21のセッションと開閉会式、6のエクスカッションととても盛りだくさんのプログラムでうめつくされました。これら全てのプログラムが予定通りの登壇者の参加をいただき、当初の企画通りに進化したこと、コロナ対応等も無事に行われたことなど主催者として、ご参加いただいた全ての方々・ご協力いただいた関係団体の方々に感謝申し上げます。今年の全まちは先述のように21ものセッションが行われました。その中からいくつかのセッションについて簡単にご紹介いたします。

「No2 東京・すみだのまちづくりの見取り図」

オープニングセッションは、地元を知り尽くしたすみだNPO協議会の代表幹事佐原滋元さんと墨田を研究対象としている成蹊大学の金さんをゲストとするトークセッション。江戸時代から現在に至る時間軸の中で産業、防災、コミュニティ、文化・アートなどを軸とした対話が行われ、その後続く各セッションのイントロダクションにもなりました。



「No5 モクミツ(木造密集市街地)のこれまでとこれから」

モクミツの先進地である墨田区京島、長い歴史の中で様々な取り組みが行われてきました。防災上の大きな課題であると同時に可能性の孵化器でもある、との認識も提示された。地元での開催ということもあり、地域の住民、関係者の方々が多数参加され活発な意見交換がなされました。



「No9 多世代が継続して暮らせるものづくりコミュニティ形成に向けて」

JSURPものづくりまちづくり研究会の主催によるセッション。江戸時代から続くものづくりのまち墨田を大田区と比較対照しつつ、その特徴と課題、可能性について議論が行われました。墨田区は大田区と比べてその歴史が長く、かつ用途純化が進まなかったが、結果として街場に多様なものが混在

し、そのことが今の時代には強みになるという共通認識を得ました。



「No11 なぜ、まちづくりは苦しいけど楽しいのか？いま語る、私がまちづくりに関わる理由」

JSURPらしいテーマ設定のプログラム、広島で活躍する木村理事(NPO ETIC)の発案で地域活動部会が全面的に参画してのセッション。全国各地で活動する会員等によるフィッシュボール形式でのセッション。まちづくりのプロジェクトを毎年続けていくことの大変さ、大変さの中にも活動によってみられる喜ぶ子供たちの顔がやりがいになっていることや、次の世代への活動の引継ぎの問題など、まちづくりの実情を赤裸々に語り合いました。



「No20 実効性と機動性のある計画システムを目指して 新しいプランニングフレームの提案」

これもJSURPらしいテーマ設定のプログラム。最近の都市をめぐる状況は、旧来の固定的な都市計画システムが時代状況と齟齬を生じており、エリアマネジメント、プレイスメイキングといった現場での動きに対していかに都市マスタープランを柔軟かく使いやすいものにするかというテーマ設定のもとで議論が行われました。



■10月後半の主な予定

- ①10月19日(水) 理事会
- ②10月26日(水) これからのまちづくり研究会3回